



種類	地域	No	指定	名称
大社	1	国	大土地神楽	
	2	県	舞々久神楽	
	3	市	乙立神楽	
	4	市	市森神社神楽	
	5	市	神西神代神楽	
出雲神楽	6	市	荒茅神楽	
	7	市	外国神楽	
	8	市	宇那手神楽	
	9	市	高見神楽	
	10	市	中野神楽	
	11	市	唐川神楽	
	12	市	原田神楽	
	13	市	赤塚神楽	
	14	市	水室神楽	
	15	市	阿富神楽	
	16	市	土手町神楽	
	17	市	万九千社立虫神社神代神楽	

種類	地域	No	指定	名称	
獅子舞	出雲	18	県	三谷神社舞獅子舞	
	平田	19	県	埴田神社舞獅子舞	
	出雲	21	市	宇那手火守神社獅子舞	
盆踊り	出雲	22	市	野尻大虎神社獅子舞	
	湖陵	23	市	佐志武神社奉納神事舞	
	出雲	24	市	荒茅盆踊り	
	平田	25	市	河下盆踊り(河下墓句)	
	斐川	26	市	羽根盆踊り	
	斐川	27	県	宇那神社の盆仏踊り	
	ささら舞	平田	28	県	多久神社のささら舞
	神事花	湖陵	30	市	市森神社神事花
	一式飾り	出雲	29	市	佐志武神社奉納神事舞
	一式飾り	平田	31	市	平田一式飾り
一式飾り	斐川	32	市	藤江一式飾り	

お問い合わせ

出雲市無形文化財連絡協議会(出雲市文化財課)  
〒693-0011 島根県出雲市大津町 2760  
TEL 0853-21-6893 FAX 0853-21-6617

2018.11 改訂 (2,000部)

# 出雲の伝統芸能

— 出雲市無形文化財 —

古より出雲国には多くの神話が伝えられ、神楽や獅子舞など神話を基にした神事や伝統芸能が神々に奉納されてきました。その技と心は悠久の時を経て今に息づいています。これら出雲の伝統芸能は各地域に残る貴重な宝として国、県、市の無形民俗文化財に指定され、先人から受け継いだ出雲の魅力と素晴らしさを次世代へと継承していきます。



# 出雲神楽

多くの神話の物語を今に伝え継ぐ出雲神楽。

- ・素面のまま、手に採物を持って舞う舞が前段にかためられ「七座」と総称されていること。
  - ・「七座」に続いて、祝福を意図する儀式的な舞の「式三番」があること。
  - ・後段に、神話や縁起などを素材にした着面による演劇舞が続き、概ね「神能」と称されていること。
- これらの点が出雲神楽に共通する基本的な特徴とされており、市内各地に数多くの神楽が継承されています。



見々久神楽「山の神」

# 盆踊り



河下盆踊り



荒茅盆踊り



羽根盆踊り

盆踊りは、各地で祈願のために行われた念仏踊りが起源であるといわれ、それぞれの歌詞や踊りのなかには、鎌倉時代末期に随岐国に流された後醍醐天皇や、戦国時代の城主などそれぞれの土地にちなんだものが多く残っています。

盆踊りは古来から民衆のくらし、伝統、風習などを色濃く反映しており、各地の夏祭りでは、毎年子どもからお年寄りまで賑やかに歌い踊られています。



須賀神社の念仏踊り

佐田町の須賀神社で古くから行われている念仏踊りは、仏教の念仏と農耕儀礼の田楽が一緒になったもので、歌舞後の始祖とされる出雲阿国が、京都の四条河原で踊った「念仏踊り」の原型とも言われています。

笛や太鼓に合わせて浴衣の着流しに花笠を被った踊り手が舌鼓のような文音を唱えて踊ります。

## 七座



荒茅神楽「前舞」



外園神楽「八乙女」

## 式三番



宇都子神楽「三番舞」

## 神能



大土地神楽「野見宿禰」



唐川神楽「素戔」



水宮神楽「目録舞」



阿宮神楽「八戸」

# ささら舞



多久神社のささら舞

多久神社で奉納されるささら舞は、およそ500年前に近江国の松本村から船に乗って多久地方に移住してきた松本一族が、大波小波を乗り越えた船旅の苦難をしのんで始めたものが起源と伝えられています。

杉板をすだれ状につないだ「ささら」で波のような音を出しながら舞い、田楽の流れをくむ舞です。

# 獅子舞

少なくとも300年前から伝わる獅子舞は、神社の芸能神事として市内各地に多く伝えられています。伊勢流の特徴を持つ獅子舞のほか、出雲地方に古くから伝わる「投げ獅子」と言われる獅子頭を投げつけるように舞う三谷神社投げ獅子舞や、獅子頭が青黒く塗られている埴田神社青獅子舞など、田楽流の流れをくむ出雲地方独特の素朴で古い形態も現在まで継承されています。



埴田神社青獅子舞「ささら舞」



三谷神社投げ獅子舞



宇都子火守神社獅子舞



野尻大蔵神社獅子舞



佐志武神社奉納神事舞

# 神事花



市瀬神社神事花



佐志武神社奉納神事舞

神事花は、忍と名づくに竹を枝垂れ松のように垂らし、色とりどりの紙花をつけた花笠で、大きなものでは高さ5メートル、重さ200キログラムにもなります。

作成された神事花は、未通り唄を歌いながら笛や太鼓のお囃子に合わせて神社までの道を練り歩き、五穀豊穣や無病息災などを願って奉納されます。

神社に奉納された神事花は、切り分けられたり、取り合ったりした紙花を氏子が自宅に持ち帰り、床の間に飾って氏神様のご加護をいただきます。

# 一式飾り



平戸一式飾り「後瀬川中島」



平戸一式飾り「自願車馬一式「御老」

一式飾りは、身近な生活用品である陶器、金物、茶器等を組み合わせて、歴史上の人物やおとぎ話などの一場面を独特な発想と技巧を凝らして飾り出す民俗芸術です。

市内には平戸一式飾りと直江一式飾りがあり、立てて飾ったり、吊って飾ったりとそれぞれに特色があります。いずれもその豪快かつ優美な作品は見る人を魅了します。